

平成 31 年度 学校教育目標等

教育局	十勝	学 校	北海道上士幌高等学校	課 程	全日制課程
-----	----	-----	------------	-----	-------

学 校 教 育 目 標

- 1 持続可能な社会づくりをめざし、知識を深め、自ら課題解決する能力と創造力を養う。
- 2 心身の調和を図り、健全な人格の形成に努める。
- 3 適性を重視した進路目標を確立し、その実現に努める。

1 育成を目指す資質・能力

- 1 「何を知っているか、何ができるか（知識・技能）」
自己実現の土台となる基礎学力、読む力、聞く力、書く力、話す力を身につけさせる。
- 2 「知っていること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）」
異なる考え方を尊重し、多様な情報を整理、分析、活用しながら、自分の考えを相手に分かりやすく伝える力を身につけさせる。
- 3 「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性等）」
自己の能力や特性を理解し、また、規律を重んじ、他者との協働の中で主体的に課題解決に根気強く取り組む態度を身につけさせる。

2 重 点 目 標

- 1 多様性を尊重する態度と互いのよさを生かして協働する力を育てる。
- 2 すべての教育活動を通して、生徒の自律性の伸長を図る。
- 3 進路目標が達成できるよう、継続的に努力する態度を養う。

3 教育課程編成の方針

- 1 地域の状況や生徒の実態を把握し、適合する教育課程の編成に努める。
- 2 社会の変化や生徒の能力、関心、進路目標に対応する教育課程の編成に努める。
- 3 特別活動を効果的に展開し、潤いのある学校生活を通じて、心身の調和のとれた人間の育成に努める。

4 指 導 上 の 重 点 事 項

学 習 指 導	<ol style="list-style-type: none"> 1 基礎・基本の定着と学力向上を図る。 2 自主的・能動的な学習態度を育成し、学習意欲の向上を図る。 3 地域の上士幌高校の教育に対する理解を深めるために積極的かつ正確な情報提供をおこなう。 4 内規の見直しおよび整備をおこない、適切な教育活動の実現に努める。
生 徒 指 導	<ol style="list-style-type: none"> 1 自己有用感を高め、他者を尊重しながら人間関係を形成できる力を育てる。 2 教育活動全体を通じて、社会に生きる大人として思いやりの心、自律・協働の精神を育てる。 3 教育相談を通して、多様な課題を抱える生徒を支援する基盤を構築する。
進 路 指 導	<ol style="list-style-type: none"> 1 正しい自己理解に努め、進路目標の実現に向けて努力を続ける態度を養う。 2 近い将来を見据えた進路実現のために必要な能力を養う。 3 特別な支援を要する生徒の進路指導の充実を図る。 4 保護者、HR担任、多分掌及び他機関との連携を深めながら、適性を重視した進路目標を確立し、その実現に努める。
健 康 ・ 安 全 指 導	<ol style="list-style-type: none"> 1 給食の円滑な運営を図り、自ら健康に留意することができるようにさせる。 2 校舎美化を通じて、公共物を大切に、美しく清潔な環境を維持することができるようにさせる。 3 保健衛生を正しく理解させ、全ての人の命と健康を大切にすることができるようにさせる。

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番縦型とする。